

インフォメーション

いちい

移動スーパーを運行

県北地方を中心に食品スーパーを展開するいちい（福島市、伊藤信弘社長）は、軽トラックを使った移動スーパー「とくし丸」を、昨年10月20日から福島市内で運行している。とくし丸は、徳島県で運営を開始し、全国各地で展開するようになった移動式スーパー。同県ではスーパーの大型化や郊外化の影響で近所に買い物するところが無くなり、日常の買い物に支障を来す「買い物難民」が6万人以上いると言われている。そうした人の買い物を支援するために始まったサービスで、現在では全国各地のスー

パーと提携してノウハウを提供している。

とくし丸を運転するのは、いちいと契約する個人のオーナー経営者で、商品はいちいの店舗のものを提供する。ネットスーパーや宅配と違い、電話一本で自宅の玄関先まで出向いてくれるので、現物を「見て・触って・選ぶ」という本来の買い物

に欠かせない行為ができる。

車両には、野菜、肉、魚の生鮮食品から惣菜、日用品など、おすす商品400品目以上が積み込まれており、自宅にいながら商品を選べる。希望の商品が無い場合は注文にも対応しているため、便利な御用聞きとしても利用できる。

顧客と直接対面してコミュニケーションを図れるのも大きな利点で、移動販売を通して触れ合うことで「地域の見守り隊」としての役割も果たしていく。

昨年12月8日にはとくし丸の2号車がいちい南福島店（福島市）に配備され、出発式が行われた。

運行エリアは同店周辺の渡利、小倉寺、松川各地区で、県と地域見守り活動の協定を結んで、独り暮らしの高齢者の安否確認なども行う。

出発式では伊藤社長が「買い物ができる自由でできないお客様を手助けする存在になりたい」とあいさつ。伊藤社長と古川彰南福島店長、オーナー経営者の菅野幸吉さんがテープカットした。

なお、同社では「とくし丸」のオー

南福島店前で行われたテープカット



ナー経営者を募集している。主な事業内容は店舗から車への商品積み込み、移動販売などで、運転免許が必須。勤務地は福島市内で、休日は月6～8日。買い物難民を支援し、地域に貢献する職業という意味では、今後注目を集めそうだ。

問い合わせはいちい人事部のメール jinj@ichi-yume.co.jp まで。

自宅への訪問を希望する際は、いちいとくし丸事業部 ☎024（594）1111 まで。

とくし丸の前であいさつする伊藤社長